



第 65 号 (年 4 回発行) 編集発行 弘前学院大学 学 会 前 報 委 員 会 弘 広 印刷所 (有)小野印刷所

弘前学院創立130周年 記念式典及び祝賀会



学校法人弘前学院 創立130周年記念式典

10月10日(月)弘前市民会館において、弘前学院創立130周年記念式典が、ご来賓の方々、生徒学生、教職員、学校関係者総勢約1300人が出席して行われた。祈祷聖書の朗読の後、阿保邦弘理事長、学院長の式辞、知事をはじめとするご来賓の皆様からの祝辞の後、祝奏「ハレルヤコーラス」を参加者全員で高らかに歌い、感動のうちに式典を終えることができた。その後、ホテルニューキャッスルに場所を移して、祝賀会が盛況かつ和やかに行われた。

本多庸一とキリスト教 番外編五



学校法人弘前学院 理事長、学院長 阿保 邦弘

学校法人弘前学院は、今年(二〇一六年)平成二十八年、創立百三十周年を迎えた。これを記念して去る一〇月一日記念式典並びに祝賀会を開催した。記念式典における理事長式辞を掲載する。

弘前学院創立記念式典式辞

本日ここに学校法人弘前学院創立一三〇周年記念式典を挙行いたしましたところ、日本基督教団奥羽教区総会議長殿、青森県知事殿、弘前市長殿、青山学院院長兼キリスト教学校教育同盟理事長殿はじめ全国キリスト教界・教育界・政界・財界から各界を代表する皆様さらに実習等協力施設、同窓生・旧PTA役員、旧教職員、後援会員ならびに関係企業・協力者各位のご臨席を賜り、まことに名譽なことと厚くお礼申し上げます。



愛される弘前学院大学として 学長 吉岡 利忠

日本の私立大学の総数は、1955(昭和30)年で122校であったのが2016(平成28)年に600校と5倍近く増えています。この60年近くの間国立大学、公立大学を含めた総大学数(771校)は約3倍に増え、その要因は主として

弘前学院は小学校令発布の一八八六年、明治十九年に元寺町の弘前教会に誕生いたしました。創立者は、津軽の先覚者にして明治キリスト教界の巨人的指導者、日本メソジスト教会初代監督本多庸一先生です。すでに開校していた函館の遺愛女学校当局者と話し合い、分校の弘前開設が決まり、弘前教会堂を利用して「来徳女学校」の名称で始めました。一八九九年、明治二十二年「私立弘前女学校」と改称して県知事の設立許可を受け、一八九八年、明治三十一年青森県で最初の私立弘前幼稚園も開設し、同じ校舎で教育活動が行われてきました。

私立大学が増えたということになります。本学は日本私立大学協会の一員であり、この協会には2016(平成28)年現在407大学が加盟しているため総私立大学の7割弱にあたります。また、本学は2010(平成22)年に創立100周年を迎えたキリスト教学校教育同盟にも加盟しており、その数は小中高を含め103法人になります。我が国の全学生数(2840千人)の7割以上を私立大学生が占めており、日本の高等教育は私立大学が担っていると云っても過言ではありません。しかし、国からのさまざまな補助金や支援については、毎年、連盟や同盟などから強い要望があるものの国立大、公立大に偏っており、全世界的に見ても我が国の教育行政に関する財源は乏しい現状です。



3・3大学に1校の割合で看護学科があることになりました。現在の看護学生の総数は2万人近くになりました。ちなみに、40年前の1975(昭和50)年度には10大学に看護学科があつて学生数は約340人でした。しかしながら、看護学部看護師学科が急増してはいるものの、看護養成の主力はやはり専修学校や各種学校からの卒業生です。最近の厚労省の看護職員の需要見通しでは1.5万人が不足と試算されており、まだまだ看護学科の新設や定員増加が続くようです。

このように私立大学を取り巻く環境に即応するために、これまで本学ではさまざまな有効的な手段を取ってきました。しかし、近隣の競争学部、特に看護学部の乱立、18歳人口の減少から十分な入学者数の確保、それに文科省からの度重なる教育改革、国からの補助金支援制度の変化などについてこれまで以上に適切な対応が求められております。今年には弘前学院創立130周年にあたります。これを一つの区切りとしてこれらの問題解決の気運が全教職員に増し

てきております。すでに周知のとおりですが130周年記念事業として①学生一人ひとりに寄り添ったオーダーメイド教育の実践として②就職率アップの教育実践として③学生のキャリアサポート強化、④学生の憩いの空間としての新3号館完成、⑤学生と保護者の方々の負担軽減のための学納金(授業料)改定、⑥授業料20%免除を4年間継続とする本学独自の奨学金の夢サポート20%のスタートなどがありすでに施行されております。それに各種奨学金制度等の充実のため資金造成奨学事業会の発足も最近立ち上がりました。これらのことや本学で行われた多数の活性化事業などについては地方新聞などに掲載され多くの方々目に触れているところであります。

さて、この度、創立130周年を迎える学校法人弘前学院には聖愛中学校・高等学校そして弘前学院大学があり、地域に根差したキリスト教一貫教育を進めています。大学は文学部、社会福祉学部及び看護学部の3学部からなる中小規模でありながら総合大学です。短期大学時代から4年制大学になって既に45年の年月を経過してまいりました。このころ、いわゆる文系の大学や学部、学科数や学生数に減少傾向があり、社会福祉学部においてもその数や入学生の減少により定員の見直しが進んでおります。本学においてもほぼ同様の状況にあります。一方、我が国では看護学部や看護学科は増え続けており、入学者数も激増しています。2014(平成26)年度にも看護系の学科は18大学で新設され、看護系のある大学は全部で288校となり

次は弘前が空襲になるのは確実でありました。そこで、県はこの年八月六日防火のための空き地を造る目的で弘前女学校校舎をすべて取り壊すことを発表しました。理事会・同窓会の陳情も空しく、八月十七日に実施と言われ、八月十五日理事長笹森順造先生は最後の陳情のため午後一時の面会を約束して県庁へ向かっていきました。この日正午に終戦となりました。校舎は救われたのでありましたが戦後弘前聖愛高等学校、弘前聖愛中学校と改称、一九五〇年昭和二十五年弘前聖愛短期大学英文科が認可され、同年学校法人弘前学院となりました。米国宣教師か

ら生きた英語を学んだ英文科の卒業生は、新制中学校の英語教員として青森県英語教育に大きな貢献をなしたことは、広く知られるところでありました。家政科、続いて国文科も増設されました。一九七一年、昭和四十六年短期大学英文科と国文科を改組転換四年制大学文学部となりました。弘前の中心部坂本町に位置していた校舎を一九七八年、昭和五三年までに弘前市の南西に広がる台地に移転し、新キャンパスで教育活動が展開されることになりました。

短期大学家政科を生活福祉学科と改称し、これを発展的に改組転換四年制社会福祉学部とするとともに男女共学に踏み切り、二〇〇〇年高等学校も男女共学に致しました。二〇〇三年大学院社会福祉学研究科、二〇〇五年は大学院文学研究科ならびに看護学部を開設し、新世紀への地固めを致しました。二〇〇六年四月中高一貫の聖愛中学校を復活し、今日の弘前学院全体の姿になりました。

弘前学院が今日まで歩み続けることができたのは、主なる神のおまもりとご臨席の各位のご理解、ご協力、ご支援によることとあり、心から厚くお礼申し上げます。私共学生生徒教職員は、キリスト教主義に基づく教育機関として

建学の精神である畏神愛人を踏まえ、人々と共に生き、平和を作り出す人間を育成しつつ、三万五千人を超える卒業生の築いた輝かしい歴史と伝統をまもり、来る創立百四十周年までには北東北で第一に選ばれる私立聖愛中学校、高等学校、弘前学院大学、大学院をめざすことをここに宣言して式辞といたします。

弘前学院が今日まで歩み続けることができたのは、主なる神のおまもりとご臨席の各位のご理解、ご協力、ご支援によることとあり、心から厚くお礼申し上げます。私共学生生徒教職員は、キリスト教主義に基づく教育機関として

弘前学院が今日まで歩み続けることができたのは、主なる神のおまもりとご臨席の各位のご理解、ご協力、ご支援によることとあり、心から厚くお礼申し上げます。私共学生生徒教職員は、キリスト教主義に基づく教育機関として

弘前学院が今日まで歩み続けることができたのは、主なる神のおまもりとご臨席の各位のご理解、ご協力、ご支援によることとあり、心から厚くお礼申し上げます。私共学生生徒教職員は、キリスト教主義に基づく教育機関として

HIROSAKI GAKUIN 130th Anniversary 弘前学院大学 Hirotsuki Gakuin University

研究紹介 34

現代におけるキリスト教大学の使命、真理、遺産を継承する教育方法論を考える

宗教主任 楊 尚 眞



私の専門分野は、キリスト教教育と実践神学の領域であり、博士論文は、在日コリアンの教育教育の方法論に関する研究である。その後、幾つかのキリスト教教育に関する研究論文を執筆したが、キリスト教教育と実践神学に関するものであれば、研究対象を問わず何でも興味があった。教会の牧師から大学の

今、現在、日本に76のキリスト教大学があり、その内、プロテスタント系大学が56、カトリック系大学が20ある。以前は、「ミッション(宣教)大学」と呼ばれ、宣教するために設立された大学というその目的を強く出していたが、現在ではその用語はあまり用いられず、「キリスト教系の大学」、或いは、「キ

リフト教主義大学」と呼ばれている。つまり、宣教という本来のキリスト教学校の宣教的使命の側面が希薄になってきている。

キリスト教学校の150年の歴史において、そのキリスト教教育によるその主体性と独自性をあらわし、キリスト教の信仰や精神を有する人材育成を目指し、社会に輩出することによって社会貢献を果たしてきたが、キリスト教大学はミッション大

学として働きを失えば、一般の私立大学と全く変わらない教育機関となってしまう。私は、キリスト教大学がいかにその主体性と独自性を保持しながら、世界をリードする教育的に、学問的に優れた大学として発展・維持できるかというその教育方法論を模索したい。

している。(1)日本の各キリスト教大学の歴史、キリスト教教育の内容と方法、そしてキリスト教教育の課題についての研究調査、(2)日本のキリスト教大学の使命と主体性、キリスト教の真理と遺産を継承して行く教育方法論、(3)日本の社会問題、即ち増加する少子高齢化問題、貧困問題、心の病などをキリスト教社会福祉の視点から取り組むことによる大学生に対する社会福祉の重要性を説く教育方法論である。

2016(平成28)年9月26日(月)、弘前学院大学と韓国釜山市の釜山外国語大学校との間で姉妹校提携が締結された。これまでに韓国ではソウル市の培花女子大学校、釜山科学技術大学校と姉妹校が提携されている。ちなみに、米国ではウイスコンシン大学、シエナドリア大学、ノースセントラル大学と、中国では上海華遠国際教育センター、上海外国語大学留学センターとの間で提携が結ばれており、グローバルセンズが求められる時代に即応した国際交流プログラムが推進されている。異文化理解、語学力アップ、諸外国で活動している人たちのコミュニケーションそして国際的感覚が身に付くプログラムである。

釜山外国語大学校はキリスト教を背景とする高等教育機関の一つであり、全校学生数は約一万人である。英語名は Busan University of Foreign Studies(BUFS)であり、鄭海隣現総長のご尊父が1982年に創立した比較的新しい大学である。3年前に新しいキャンパスとして釜山市内から郊外(丘陵地帯)に移り、同じ色彩、同じ様相の各校舎が中央の広い広場を囲むように配置されている。日本の設計事務所、建築会社が施行したと聞いた。主な学部・学科として欧州・米国圏学科、アジア圏学科、日本語学科、人間科学科、ビジネス学科、自然科学科・エンジニアリング学科、教育学科、工業・エンジニアリング学科、カiproプラクティク学科、ゴ

釜山外国語大学校との姉妹校提携

学長 吉岡 利忠

ルフ学科、大学院などがある。素晴らしい機能的な図書館、体育館、オープンな各教室、ドミトリ、レストラン、日本建築の茶室、それに学生のための福利厚生は充実しており4年間のキャンパスライフを満喫できる。海外からの留学生も多く、中国から最も多く、東南アジア、日本から続く。また、釜山外国語大学校から世界中の国々に留学や研修するプログラムがあり、日本の30大学と提携があり数人の学生が短期、長期の留学が進められている。昨年、弘前学院大学からは2名の学生が短期研修に行った。今回、正式に提携が結ばれたことから両大学の学生の行き来が盛んになると考えられる。

今回の提携は、国際交流センター長である平中ゆかり助教のご助力によるものである。平中先生は釜山科学技術大学校の教員から釜山外国語大学校に移籍した先生であり、本学宗教主任の楊尚眞先生が提携の段取りを計画した。提携には、金庸珪学部長、邊琪燦国際交流センター長、卓正訓国際交流センター員が参列した。またこの日、日本語学科の学生に本学の薬科の講義が持たれた。

拝啓ボーカス先生

社会福祉学部 教授 松本 郁代

当初は全く判りませんでした。偶然、教文館発行の『開教五十年記念講演集』で、かつて先生が女子教育をなさった際に、その為の適切な本がなく、それら

『常磐西洋料理』の奥付には、ボーカス著と日本語で書かれ、英文では別の宗派のお二人の名前が著者として示されています。それは、単に翻訳の際の行き違いなのか、それとも意図的なものなのか、その経緯をいつか伺ってみたいと思っております。

今でも、人の研究に名前だけ載せてもらって研究報告をしたように見せたり、論文に名前の

その後の暫くのプランクを経て「WORLD NEWS」と「哲学と倫理」を前期に受講しました。語学以外の勉強をしてなかつた私にとって哲学はとて

世の中の状況が厳しさを増している中、最近の学生はとも

できる事もあり、当に「一生学び」の思いを強くしました。英語の授業では、最近のニュースを一人ずつ毎週発表する他、数回のプレゼンもあります。自然と世界の出来事に注意を払うようになり、プレゼンのテーマには、これからの若い人達に少しでも関心を持ってほしいと考えるものを選びました。

先生が本学を去られて、横浜の山手で出版社を始められてから、どのくらい経つのでしょうか。昨年、本学生協理事会で、弘前学院外人宣教師館見学者向けのお土産について検討する機会がありました。私案としては、女性宣教師が伝えた西洋菓子を復元するというものでした。

しかしながら、皆様が伝えて下さったと思われるレシピのありかが判らず、文献を検索し、親子三代遺愛を卒業したという知り合いにもインタビューをいたしました。その結果、ボーカス著(一九〇四)『常磐西洋料

今でも、人の研究に名前だけ載せてもらって研究報告をしたように見せたり、論文に名前の

その後の暫くのプランクを経て「WORLD NEWS」と「哲学と倫理」を前期に受講しました。語学以外の勉強をしてなかつた私にとって哲学はとて

世の中の状況が厳しさを増している中、最近の学生はとも

できる事もあり、当に「一生学び」の思いを強くしました。英語の授業では、最近のニュースを一人ずつ毎週発表する他、数回のプレゼンもあります。自然と世界の出来事に注意を払うようになり、プレゼンのテーマには、これからの若い人達に少しでも関心を持ってほしいと考えるものを選びました。

今でも、人の研究に名前だけ載せてもらって研究報告をしたように見せたり、論文に名前の

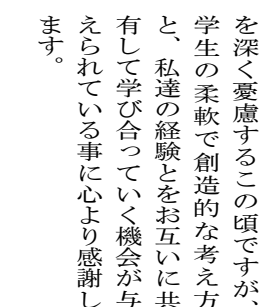
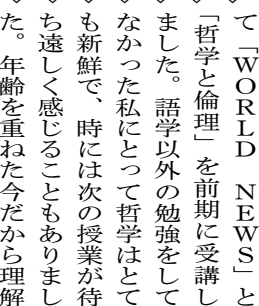
その後の暫くのプランクを経て「WORLD NEWS」と「哲学と倫理」を前期に受講しました。語学以外の勉強をしてなかつた私にとって哲学はとて

世の中の状況が厳しさを増している中、最近の学生はとも

できる事もあり、当に「一生学び」の思いを強くしました。英語の授業では、最近のニュースを一人ずつ毎週発表する他、数回のプレゼンもあります。自然と世界の出来事に注意を払うようになり、プレゼンのテーマには、これからの若い人達に少しでも関心を持ってほしいと考えるものを選びました。

世の中の状況が厳しさを増している中、最近の学生はとも

できる事もあり、当に「一生学び」の思いを強くしました。英語の授業では、最近のニュースを一人ずつ毎週発表する他、数回のプレゼンもあります。自然と世界の出来事に注意を払うようになり、プレゼンのテーマには、これからの若い人達に少しでも関心を持ってほしいと考えるものを選びました。



看護統合実習(デイケア)での学び



看護学科 四年 鎌田 寿樹

私は精神科デイケアで統合実習を行った。患者さんは、初対面の人に対して、すぐに心を開くことがほとんど無く、看護師を含む医療スタッフが信頼できる人物なのかを判断してから相談を行います。そのため、相談して下さるようになるためには、知識だけではなく、礼儀正しく誠実に対応をして、少しずつ信頼関係を築くことが重要です。そのためには様々な人と関わって、対人関係の経験

を積んでいくこと、何事にもまっすぐに取り組むことが重要であると考えています。

この実習により、私は精神疾患に対して、作業療法やデイケアでのレクリエーション活動による効果が非常に高いと感じました。精神疾患の治療には、その緩和のために薬物療法が有効な場合もありますが、薬物療法により意欲が低下したり身体活動量が低下したりすることがあります。私は生活習慣病の予防や健康の保持増進の観点から、身体活動量を維持することも必要であると考えていました。特にデイケアに参加される患者さんは症状も安定していることが多く、薬物療法とは違ったケア

社会教育実習を終えて

英語・英米文学科 三年 原田 葵



に終わらせるのではなく、今後の事業に参考にできるようなことを見つけて、それを活動に活かすために行動することが大事だと感じました。

そして二つ目は、公民館の利用者の方とコミュニケーションをとる、職員側に求められていることを把握することの重要性である。社会教育施設に共通している問題は、利用者の数が減っていることだと職員の方から聞いた。私は、利用者である地域住民の声を大事にし、事業の際のアンケート結果や公民館に寄せられるメールなどを参考にして、地域住民の意見に耳を傾ける姿勢を身につけたいと感じた。

私は、社会教育実習を通して二つのことを学んだ。まず一つ目は、自分がやらなければいけないことを自分で見つけて積極的に行動することである。実習中は、担当の職員の方から細かく多くの指示を受けないので、自分で状況を判断して臨機応変に行動しなければならぬ。実習生として公民館の職員という立場から物事を考えて行動することは、想像していた通りに難しかった。私たちは、次の事業がより充実したものになるように数多くの情報を整理しなければならぬ。事業をただ作業のよう

また、実習の全体のまとめとして私が実習前に立てた目標である、社会教育施設で働く職員がど

社会福祉実習を終えて



社会福祉学科 三年 鳴海 知浩

が必要ではないかと考えていました。デイケアでのレクリエーション活動に参加している方々を観察すると、意欲の低下や幻覚妄想などの症状がほとんど見られなくなっていました。レクリエーション活動を通して、健康である部分を引き出されているということが感じられました。参加者のなかにはルールが守れないことによるトラブルに発展する方や、失敗を悲観的に捉えてしまう方もいました。健康である生活を送ることで、健康である時間をより長くし、疾患によって苦しむ時間を減らしていくことができると感じました。

私は、平川市社会福祉協議会(以下、平川市社協)で実習をさせていただきました。平川市社協では、地域福祉を推進しており高齢・障がい・児童といった様々な分野を対象に活動を行っています。そこで私は、高齢者の生活課題にはどのようなものがあるのかに注目し、その生活課題に対して平川市社協がどのような福祉関連制度を活用し、各種関係機関との連携を図っているのかを学ぶことを目的に実習を行いました。

高齢者の生活課題を知るとい部分では、平川市社協が行う食代の方たちとお話をする機会があった。普段聞くことができない地域の方々の声を聞くことで、自分自身の実習に対する意識が変わり、貴重な時間を多く過ごすことができた。

と学びました。高齢者の方々が抱える多種多様な生活課題への対応には、高齢者の声に丁寧に耳を傾け早期に生活課題を捉え福祉関連制度につなげるだけでなく、地域の社会資源の連携を図り地域全体で高齢者を支える仕組みをつくる社会福祉協議会はなくてはならない存在だと感じました。

また、実習を通して私の住む地域で生活課題を抱えた人々が想像以上に生活されていることに驚きました。平川市社協の事業に実際に参加をさせて頂くなかで、住民同士のつながりを基盤に住民が主体となって地域づくりを行っている姿を見ることができ、私も平川市の住民として地域づくりに少しでも貢献したいと考えるようになりました。今後は、実習で学んだことを活かしてどのような社会福祉士になりたいのか考えながら、残りの大学生活を送りたいと思っています。

実習を終えて

日本語・日本文学科 四年 小笠原 望



私は、青森県立美術館に学芸員実習に行きました。五日間という短い期間ではありますが、実りある実習ができました。特に心に

残っていることが二つあります。一つ目は、美術館はここでしかできない、見ることでできない展示をしなければならぬということ。青森県立美術館のミッションの中に、「青森県の芸術風土を世界に向けて発信する」というものがあります。実際に、縄文が関係するような展示、雪と青空を表してありました。建物も作品として

二つ目は、監視員のヘルプをしたことです。監視員というのはとても難しい仕事で、来館者をじっと見てしまうと睨まれたとクレームが来てしまいます。私も体験をした時、何かを食べているかのよう

に口が動いている方を見ました。幸いその方は口にも入っていないのか、違うのかを見極めたいものの、じっと見るわけにもいかず、苦労しました。作品を守ったり、美術館の運営するには、学

イングリッシュ・キャンプ開催

英語・英米文学科は、

- 9月20日(火)、イングリッシュ・キャンプを開催しました。1年生から4年生まで約60名が参加し、10名のネイティブスピーカーの協力を得て、朝から夕方まで「英語漬け」の一日を体験しました。具体的な活動は以下の通りです。
- 8:00 集合、受付、グループ分け
- 9:00 入国審査のactivity
- 9:30 travel activity
- 10:00 lecture 1
- 10:30 lecture 2
- 11:00 travel activityについてreport作成
- 12:00 cooking activity
- 13:00 poster session (グループ及び個人のpresentationを含む)
- 17:00 解散

イングリッシュ・キャンプに参加して

英語・英米文学科 三年 笹花 哲平



夏休みも最終日が迫ってきた頃に行われたイングリッシュ・キャンプは私も含め皆が盛り上がり。実はこのイベントは今年度の初の試みで、来年度からは恒例行事にするという。今年初めということもありフォーサイス先生の伝手で三沢基地のネイティブの方々が大勢集まってくれ、私たちの英語コミュニケーションスキル向上と英語への興味・関心への後押しをしてくれた。主な内容は実地でのやり取りを想定した模擬シミュレーションである。例えば、入国審査時の会話、またはショッピングでのやり取りなどである。昼はこのショッピングで手に入れた食材とレシピをもとにグループごとに昼食を作った。私はネイティブの方々とジョークを言い合い、また日本と海外の異文化の話で盛り上がりがあった。ネイティブと話すという貴重な経験と学生たちが大いに盛り上がる事ができる行事である。次回は学生主体で企画し、学生の自発的参加を促してみたいと思う。

2016年度 1年生の特待生授与者

2016(平成28)年度の弘前学院大学特待生(1年生)に、10月26日(木)12時より賞状の授与が行われた。今年度の授与者は次の方々です。

- 文学部1年 工藤 聖華 (弘前南高校)
- 社会福祉学部1年 外川いつき (弘前南高校)
- 看護学部1年 松田 尚純 (秋田県立由利高校)



啄木を愛する函館の人々

—国語国文学会「文学散歩」を終えて—

日本語・日本文学 三年 櫻庭 怜央



九月十二日、十三日の二日間、「北の大地の文学を訪ねて」と題して函館市内の文学ゆかりの地を旅した。一日目は遺愛女子高等学校と箱館奉行所、五稜郭公園、二日目は土方・啄木浪漫

石川啄木は岩手県の出身だが、彼に関する資料が最も残っているのは函館だそう。啄木が函館に滞在していたのはわずか四ヶ月半ほど。なぜ函館に資料が残っているのだろうか。それは啄木を愛する函館の人々が

守ってきたからだ、と文学館の館員の方は言う。啄木の死後、義弟の宮崎都雨や市立函館図書館の初代館長の岡田健蔵らによって「函館啄木会」が結成された。図書館長だった岡田は、函館市内に「啄木文庫」を作り、啄木の妻、節子から寄贈された遺稿や日記を保存した。函館はこれまで幾度と無く大火に襲われている。その最中でも啄木にまつわる資料は、耐火書庫と函館啄木会の人々の手によって大切に守られてきたのだそう。啄木は借金も多く、女性関係も奔放で、だらしない私生活を送っていた。それでも妻の節子をはじめ、宮崎都雨、岡田健蔵など様々な人々が啄木を愛し

弘学を大いに語る

—弘前学院創立130周年記念座談会—

10月8日(土)、三人の卒業生と三人の現役学生が集まっていた。弘学の過去・現在・未来について語っていただきました。

卒業生から語られたエピソードは、アメリカ人宣教師の授業は鏡で口元を写しながら繰り返し発音練習を行う厳しいものだったことや、入学して初めて出された課題が衝撃的過ぎて忘れられないことなど。ときに深く、ときに軽やかな座談会となりました。紙幅の都合ですべてを掲載できませんが、参加者の了解のもと一部を割愛し、その概要を紹介します。

■出席者

花田佐値子さん (キャンパスが坂本町から現在地に移転した当時の短大英文科の卒業生)

森山 恵里さん (4年制女子大時代学生生活を過ごした文学部日本文学部の卒業生)

對馬 洋樹さん (社会福祉学部第1期生で、男女共学草創期を過ごした卒業生)

浅沼 佑耶さん (学友会執行委員長 社会福祉学部3年生)

新毛 稔理さん (学友会副執行委員長 社会福祉学部3年生)

関戸 颯汰さん (学友会副執行委員長 文学部2年生)

進行は広報委員会委員である文学部の生島美和准教授が務めた。

生島 130周年という記念の年に、本学で学ばれたいろいろな年代の方にお話しいただき、年代を超えて弘学よさを共有できればと思います。この場を準備させていただきました。ざっくりと振り返らせていただければと思います。

—男子学生の入学

生島 学生時代の思い出をお聞きできればと思います。やはり男子学生が入学してきたということが、一番インパクトあることでしょうか。



卒業生：對馬 洋樹さん

對馬 入学したときは他にも男

7/21(木)2016年度弘前学院大学英語弁論大会が行われた。受賞者は以下のとおりです。

- 金賞：角田愛琳奈 大佑
- 銀賞：橋本 崇志
- 銅賞：小笠原 崇志

支えていたのである。そして彼らの意思を引き継ぎ、啄木の資料は函館の地で今でも守り遺されているのである。

今回紹介したエピソードのように、行った先々で気づきがある。そしてそれらの気づきがついてくると、より文学への理解が深まるのだ。これも一つの文学の味わい方なのだと気づかされた旅であった。



卒業生：花田佐値子さん

花田 そう。初めはね。聞いたとき、「え！男子も入るの？え？」って(笑)感じでした。女学校のイメージが強かったの

生島 花田さんは聖愛の高校からですか？

花田 いいえ。中学、高校、短大です。

生島 じゃ、8年にわたり。坂本町(の校舎)で過ごし、短大時代にこちら(稔町)に移ったのですか？

花田 そう。そのときですね。2年だけだったですね。

生島 当時、この辺は野っ原だったと聞いていますが、通学はどうなっていたのですか？

花田 通学は、電車とバスです。弘前駅からバスで通いました。

生島 不便はなかったですか。今だと近くにコンビニとかありますけど。

花田 そんなには感じませんが、時間のある時は弘前駅まで歩いて帰りました。お店を見ながら。

生島 何か、大きな思い出ありますか。聖愛中、高、短大と。

花田 私は中学、高校と6年間坂本町の校舎で過ごしたので、当時の校舎が味わい深く、その校舎がなくなったのがとても残念でした。

生島 皆さん、当時の校舎がどんな様子であったか、写真で見ますか(90周年記念誌を回覧)。

花田 正面玄関前に階段があった

て……。

生島 この階段、すごく急だけど、雰囲気のある素敵な階段ですよ。

花田 クラスメイトの人たちも皆、あの校舎よかったですね。と言っています。

—思い出に残る先生(一) 女子大時代のオモイデ

生島 当時は外国人の宣教師の先生がいらしたのですよ。

花田 二人ほどいらつしやいました。

生島 授業もあつたのですか。

花田 ありました。英語の授業です。厳しい授業で、小さい鏡がありまして、それを持たせて発音の指導をしてくださりました。口の開き方、厳しくて、RとLの発音の違い、舌をつける、つけない。鏡を見てやっごらんと、厳しかったですね。

生島 学生は、皆さん鏡を持ってやつたのですか。

花田 パーソナル先生といいますが、厳しくて……。皆さん、ハイ！と言って。

生島 美しく、正しく発音しないとイケなかったのですか。

花田 今でも頭に残っています。何十年経っても忘れないですね。

生島 そうですか。次は森山さん。こちらに移って、校舎等も整ってきたころに入学し、女子大として一番盛り上がりを見せていたころかと思えますが、どうでしたか。

たのんびりした感じで、私は国文科でしたけど、先ほどのお話のように鏡を見ながら一生懸命に、という感じはなくて、女子ばかりで和気あいあいとしていました。先生方もとても仲良く、すごく楽しく過ごしていました。

生島 何か、思い出ありますか。

森山 20何年も前のことなので(笑)。ただ、就職のときなどは、学校の先生になった先輩が来ていろいろ話をしてくれていました。そのときに、そうか、学校の先生という道もあつたなと気づかされて。当時は、弘大の教育学部の人が試験を受けて先生になっているというイメージがありました。しかし、学院の卒業生の中にも教員になっている人がいることがわかりました。私も中学校教員になりましたが、後輩やこの地区に学院を卒業して、教員になっている人が、卒業生の中にもたくさんいます。

生島 同級生の方で何人も先生になつていらつしやる方がいるのですか。

森山 そうです。近隣の中学校にもいますし、異動すると、「私も学院卒なんですよ」と、声をかけてくださる方も大勢います。

生島 そういう後輩がいて、頼もしいですね。

花田 そう。頼もしいですね。

生島 ところで、華やかだったんですかね。女子大という感じで。周りの人に聞くと、当時の弘学の学生はとても華やかだったと……。

森山 イメージ的には英文科の人達が(笑)。しかし、女の子ばかりだったので、どの学部



在学生：関戸 健太さん

関戸 やはり英文の方がオシャレで、日文は変わらな感じ

生島 そうですか。日文はそうかもしれないですね。英文の方が華やかな感じがしますね。アメリカの文化やファッションに興味や関心を持つことから変わっていかないですね。

—浅虫・百沢でリトリート？

生島 話は変わりますが、思い出の行事とかありますか。

對馬 リトリートがありましたね。泊まりに行つて。

森山 ああ、岩木山の。そーだ。

生島 リトリートの仕方や内容も世代によって違うと思うのですが、對馬さんはどちらに行かれたのですか。

對馬 岩木の山の中に、ずーと入つて……。

生島 セミナーハウス？

對馬 ええ、そのような。

生島 建物に入つてから清掃をしたとかって。カメムシがすごく多かったって。

花田 ああ、そうでしょう。山の中ですか。

森山 森山さんもそうですか。

生島 そうです。行きました。泊まったんですよ。



卒業生：森山 恵里さん

森山 盛り上がりがありました(笑)。でも、女子しかいなかった

森山 そうですね。女子大という感じ



在学生：浅沼 佑耶さん

森山 泊まりました。
対馬 礼拝とか、賛美歌……。

浅沼 自分のときは、着いてすぐ、「歌いましょう」って。それまで、宗教行事の経験がなかったので、聖書と讃美歌の本は必ず持ってきて、と言われても、「はあ？」という感じで、泊まるのだから、とりあえずトランプは持って行こうかという感じでした(笑)。礼拝と学院の歴史とかの説明の後、学部に分かれて自慢紹介や、年度によって違うようですが、いろいろな友達作りのプログラムをやりました。

生島 アイスブレーキングをやるとい感じですね。今と同じように、入学後すぐに行かれたのですか。

対馬 森山 そう、すぐですね。生島 そうですか。今はアップルランド南田温泉で行っています。セミナーハウスはもうないので、学生の皆さんは岩木の方に行っていたというのを知っていましたか。

学生 いや、知りませんでした。対馬 いつから南田温泉に行くようになったのですか。

生島 1990年代後半、2000年に入るか、入らないかの頃だったと思います。

花田 私たちのときには浅虫に行きました。

生島 え！ 浅虫に行かれたんですか。

花田 浅虫に保養所みたいなところがあったんです。

生島 弘前学院の？

一同 ほう！(驚きの声)
生島 バスを運んで？

花田 バスではなくて、汽車で。生島 そうですか。そのとき何をやられたか覚えてますか。今話されたように礼拝とか……。

花田 もちろん、礼拝はありましたし、各グループに分かれて、テーマに沿った話し合いをしたり……。卒業してから浅虫はなくなつて、岩木に建物ができたという話は聞かなくて良かったです。その岩木の施設を売却することになって、譲渡記念礼拝があり、校友会の役員をしていたことから、そのとき初めて入ってみました。

生島 そうですか。こんなところに泊まっていたのかとか。

花田 山の中ですから湿度がすごかったです。建物自体湿度があり、冬場は雪も多いですから。生島 リトリート一つとってもそれぞれ異なる記憶がありますよね。先ほどパースンズ先生の厳しい英語の授業があったというお話がありました。森山さんの思い出に残る先生とか、講義とかありますか。

生島 1年生のときですからね。

対馬 福祉って、相手の気持ちを考え、分かってほしいとお手伝いできない、お仕事ができないということ、相手の気持ちで分かってほしいということ、今はよく理解できているのですが、当時は衝撃的でした。

生島 先生の思い出というよりも、忘れられない学修内容だったということですね。

対馬 違和感とか、感じたことを相手の立場で考えることの大切さを教えてくださったのだと思います。

生島 そうですか。学生の皆さんはどうですか。印象的な授業とかありますか。

浅沼 社会福祉学部では、「難関」と言われる先生がいらつしやつて、なかなか単位修得がでず、何度も挑戦しているという学生が結構います。

生島 当時からありましたか。

森山 女子ばかりだったので、単位を落とされるとか、そういうのは減多にありませんでした。

浅沼 今の学生が騒がしくなってきたのが原因かもしれません。授業中騒いで、ガツリ叱られたことがあります。でも、試験で頑張ったら、「君、やればできるのだからしつかり授業を受けて」と言われたことがあります。

生島 ほかの人はどうですか。

新毛 先輩のお話を聞いて、自分で体験してレポートにまとめるとい課題は驚きを受けました。介護実技の授業以外に、あまりそのような授業を体験することがなかったのです。

生島 今、アクティブラーニングとか、体験型(学習)が重要と言われていきます。先ほどのお話は、先を行っていたという感じがすよね。対馬さん、それがきっかけで、社会福祉にさらに興味を持たれたということ

はありますか。

対馬 私は最初から福祉の仕事をしたと思って入学してきたので。

生島 そうですか。関戸君は文芸部ですけどどうですか。

関戸 一番難しい授業は、「マンガ」の授業です。マンガを研究して、現代のカルチャーを知つていこうという授業です。他の授業では参考文献があるのですが、この授業では参考文献がありません。先生から教わったことについて、自分の考えや感じたことを発表するという形式なので、間違えということはないのですが……。

生島 どう切り込んでいくかと。

関戸 ええ、迷います。

森山 ものすごくいいことですよ。自分の考えを主張できるということ。子どもをみていうことがあまりないので、そういう場があるということ、これからの社会を生きていくうえで大切なことなので、とてもいいと思います。

生島 積極的に意見を言った。討論していくという授業を受けたという記憶がありますか。ずっと、講義を受けているという感じですか。

森山 そうですね。受け身で聞いて分かっていく感じですね。授業は真面目に受けているのですが、女子ばかりなので、「今日の先生の服装、ダサイよね(笑)」とか、似顔絵を描いている人もいたりとか、のんびり、楽しくやっていると感じました。

私ユウノヒゲ

生島 当時の学生の人は、授業のない時の時間の使い方はどんなでしたか。

花田 何してたんだろう。森山 もっぱらおしゃべりに花をさかせていたと思います。地下に何か……。

花田 地下に食堂ができて、そこで食べて……。

生島 おしゃべりしたりして。花田 そう、そう。当時はその建物しかなくて、徐々に建て増していきましたね。

生島 森山さんは教師、対馬さんは福祉の職場へと進まれましたが、花田さんは卒業後は？

花田 役場に勤めました。

生島 そうでしたか。そうしたら、学院を卒業して良かったな、自分にとっての大学ってこんなところだったなということあります。

花田 聖愛には中学から入りましたが、県内いろいろあったところから入学してきていたので……。

生島 中学も高校もですか。

花田 ええ。寮がありましたので、五所川原、板柳とか、あちらの出身の方が多かったですね。もちろん弘前の方もたくさんいました。方々から集まってきたので、自分が住んでいるところ以外の人とお話できて楽しかったです。地元と同級生はそんなにいなかったのですが、逆に聖愛に入ったので、市内はもちろん、近隣の地域にたくさん同級生がいるということ、視野が広がったように思います。

生島 じゃ、卒業のときには離れがたかったですね。その後もお手紙のやり取りとかあるのですか。

花田 私のクラスはクラス会があるんです。今は4年に1回、オリンピックのある時にしかやらないですけど、今年ちょうどあったんです。でも、ちょうどあったんです。でも、女の子ですから、方々に散らばってしまう。結婚してね。せいぜい5、6人しか集まらないですけど、近況を語り合つてね。

生島 盛り上がりますよね。森山さんどうですか。

森山 クラス会とかはないのですが、さっき言ったように同じ仕事をしている同級生や先輩の人達がいるので、その人たちと会っています。一番仲のよい友達も教師をやっています。高校は違いましたが、この大学で出会って、一生の友達になりました。彼女との出会いが、私を今の職業につなげています。彼女との出会いがないと今の私はないと言ってもいいです。

生島 同じ目標を持って頑張った友人ということですね。

森山 ええ。

生島 そうですか。対馬さんはどうですか。振り返ってみて。

対馬 この地域の福祉の業界には学院大の卒業生が多いんですよ。ですから、よく仕事で他の法人や事務所の方とお会いした時に、「二期生ですよ」とか言われることがあって、話に入りやすいですね。人の輪が広がっている。福祉という仕事はネットワークが必要なので助かります。社会福祉学部ができる前は、青大とか、東北福祉大とかの卒業生が多かったのですが、今は弘学の卒業生が多いので、連携がうまくいっています。

生島 じゃ、今の社会福祉学部の学生についても、いい噂も悪い噂も聞かえたりするのですか。

対馬 人事の仕事をしているのですが、学院大生の応募が多いです。一生懸命やられている学生が多く、近年就職された方も熱意を持って励まれている方が多いです。

生島 そうですか。熱意を持ってやれそうですか。

浅沼 そうですね。福祉の仕事につきたいと思つています。この地区に勤めている卒業生が多いので、実習指導を受けても心強いですが、自分は県外出身なので就職するには地元に戻つて探すが一番かなと考えたりします。

生島 対馬さんのときも県外出身の方が多かったですか。

対馬 多かったですね。それぞれ地元に戻つて就職したり、こちらに就職した方も、こちらで就職された方もいるということですね。

対馬 学生のときに、自分いろいろ見ている……。福祉学部ではよくボランティアに行ったりしたので、学生のうちに幅広くいろいろな施設、事務所を見てほしいと思います。関心のある分野も見ることによって、違った側面が見えて、興味が広がっていくと思います。学院大の学生の実習を担当したときには、休みのときなどにいろいろなところを見て、将来のことを決めていけばいいよと話しています。

花田 何年生のときに実習があるのですか。

対馬 3年生のときに行いました。社会福祉士のほかに、保健福祉士の資格もあるので、必要な人は4年生でも行います。

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

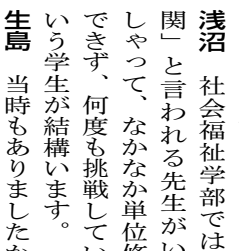
生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前



在学生：新毛 稔理さん

新毛 先輩のお話を聞いて、自分で体験してレポートにまとめるとい課題は驚きを受けました。介護実技の授業以外に、あまりそのような授業を体験することがなかったのです。

生島 今、アクティブラーニングとか、体験型(学習)が重要と言われていきます。先ほどのお話は、先を行っていたという感じがすよね。対馬さん、それがきっかけで、社会福祉にさらに興味を持たれたということ

はありますか。

対馬 私は最初から福祉の仕事をしたと思って入学してきたので。

生島 そうですか。関戸君は文芸部ですけどどうですか。

関戸 一番難しい授業は、「マンガ」の授業です。マンガを研究して、現代のカルチャーを知つていこうという授業です。他の授業では参考文献があるのですが、この授業では参考文献がありません。先生から教わったことについて、自分の考えや感じたことを発表するという形式なので、間違えということはないのですが……。

生島 どう切り込んでいくかと。

関戸 ええ、迷います。

森山 ものすごくいいことですよ。自分の考えを主張できるということ。子どもをみていうことがあまりないので、そういう場があるということ、これからの社会を生きていくうえで大切なことなので、とてもいいと思います。

生島 積極的に意見を言った。討論していくという授業を受けたという記憶がありますか。ずっと、講義を受けているという感じですか。

森山 そうですね。受け身で聞いて分かっていく感じですね。授業は真面目に受けているのですが、女子ばかりなので、「今日の先生の服装、ダサイよね(笑)」とか、似顔絵を描いている人もいたりとか、のんびり、楽しくやっていると感じました。

私ユウノヒゲ

生島 当時の学生の人は、授業のない時の時間の使い方はどんなでしたか。

花田 何してたんだろう。森山 もっぱらおしゃべりに花をさかせていたと思います。地下に何か……。

花田 地下に食堂ができて、そこで食べて……。

生島 おしゃべりしたりして。花田 そう、そう。当時はその建物しかなくて、徐々に建て増していきましたね。

生島 森山さんは教師、対馬さんは福祉の職場へと進まれましたが、花田さんは卒業後は？

花田 役場に勤めました。

生島 そうでしたか。そうしたら、学院を卒業して良かったな、自分にとっての大学ってこんなところだったなということあります。

花田 聖愛には中学から入りましたが、県内いろいろあったところから入学してきていたので……。

生島 中学も高校もですか。

花田 ええ。寮がありましたので、五所川原、板柳とか、あちらの出身の方が多かったですね。もちろん弘前の方もたくさんいました。方々から集まってきたので、自分が住んでいるところ以外の人とお話できて楽しかったです。地元と同級生はそんなにいなかったのですが、逆に聖愛に入ったので、市内はもちろん、近隣の地域にたくさん同級生がいるということ、視野が広がったように思います。

生島 じゃ、卒業のときには離れがたかったですね。その後もお手紙のやり取りとかあるのですか。

花田 私のクラスはクラス会があるんです。今は4年に1回、オリンピックのある時にしかやらないんですけど、今年ちょうどあったんです。でも、ちょうどあったんです。でも、女の子ですから、方々に散らばってしまう。結婚してね。せいぜい5、6人しか集まらないですけど、近況を語り合つてね。

生島 盛り上がりますよね。森山さんどうですか。

森山 クラス会とかはないのですが、さっき言ったように同じ仕事をしている同級生や先輩の人達がいるので、その人たちと会っています。一番仲のよい友達も教師をやっています。高校は違いましたが、この大学で出会って、一生の友達になりました。彼女との出会いが、私を今の職業につなげています。彼女との出会いがないと今の私はないと言ってもいいです。

生島 同じ目標を持って頑張った友人ということですね。

森山 ええ。

生島 そうですか。対馬さんはどうですか。振り返ってみて。

対馬 この地域の福祉の業界には学院大の卒業生が多いんですよ。ですから、よく仕事で他の法人や事務所の方とお会いした時に、「二期生ですよ」とか言われることがあって、話に入りやすいですね。人の輪が広がっている。福祉という仕事はネットワークが必要なので助かります。社会福祉学部ができる前は、青大とか、東北福祉大とかの卒業生が多かったのですが、今は弘学の卒業生が多いので、連携がうまくいっています。

生島 じゃ、今の社会福祉学部の学生についても、いい噂も悪い噂も聞かえたりするのですか。

対馬 人事の仕事をしているのですが、学院大生の応募が多いです。一生懸命やられている学生が多く、近年就職された方も熱意を持って励まれている方が多いです。

生島 そうですか。熱意を持ってやれそうですか。

浅沼 そうですね。福祉の仕事につきたいと思つています。この地区に勤めている卒業生が多いので、実習指導を受けても心強いですが、自分は県外出身なので就職するには地元に戻つて探すが一番かなと考えたりします。

生島 対馬さんのときも県外出身の方が多かったですか。

対馬 多かったですね。それぞれ地元に戻つて就職したり、こちらに就職した方も、こちらで就職された方もいるということですね。

対馬 学生のときに、自分いろいろ見ている……。福祉学部ではよくボランティアに行ったりしたので、学生のうちに幅広くいろいろな施設、事務所を見てほしいと思います。関心のある分野も見ることによって、違った側面が見えて、興味が広がっていくと思います。学院大の学生の実習を担当したときには、休みのときなどにいろいろなところを見て、将来のことを決めていけばいいよと話しています。

花田 何年生のときに実習があるのですか。

対馬 3年生のときに行いました。社会福祉士のほかに、保健福祉士の資格もあるので、必要な人は4年生でも行います。

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

生島 優しい感じで、眼鏡をかけていらしたんですけど、お名前

—— 学生に期待する ——

生島 今の大学生に期待することとを述べていただけますか。

對馬 学生でなければできないことっていっぱいあると思いませんか。失敗してもいいのでいろいろなことチャレンジしてほしいですね。いろいろ吸収できる時期だと思おう。高校生から大学生になって、一気に世界が広がる時期で、いろいろな人と関わったり、お酒も飲める年齢にもなるので(笑)、そんな関わりの中で、社会人として、人として学べることもあると思います。社会に出てからは、人間性が大事になってくると思うので、学生時代にいろいろな経験や、いろいろな人と話をして頑張ってもらいたいと思います。

また、社会福祉学部では、社会福祉士と精神保健福祉士の(国家試験受験)資格が得られるのですが、科目が多くなるので、私は精神保健福祉士に関する科目を履修しませんでした。でも、卒業して、仕事をするうちに精神保健福祉士の資格がどうしても必要だと感じるようになります。自腹を切つてとりまいた。スクーリングや通信授業とかで、ですから、その辺をしっかりと考えて頑張ってもらいたいと思います。後で後悔することがないように。せっかく親からお金を出してもらって学校に通っているのに、自分を磨きつつ、自分の知識を高めること、その両方が無いと社会人としてうまくいかないとと思うので。あと、夏休みも家にいるだけでなく……。

對馬 バイトをしたり、旅行に行ったりしていましたね。

森山 先ほど思い出に残る先生のお話をしたときに思い出したんですが、結婚についてお話をしたときに、「好きになつたらしようがないかもしれないけれど、あなたたちは大学を出ているのだから自分と同じく大学を卒業した人と一緒にいなささい。高校では学んでいない知識も、あなたたちは4年間こうして勉強したのです。その溝は埋まりませんよ。」というようなことを話されて……。さらに、先ほど、對馬さんもおっしゃったように、勉強する機会を与えてもらっているのだから頑張らないといけないなと思つたことも思い出しました。4年間このように学ぶ機会を持てるというのは、高校を出て就職する人の中、別に遊んでいるわけでは無いけれど、勉強もしているし、20歳を過ぎてある程度責任を持って自分の好きなことができる、そんな時間が持てるのは大学生の特権だと思えます。自分を生かすも殺すもその4年間をどう過ごすかなので、遊んでもいいのですけれど、資格を取るか、知識を深めるとかしておくと、社会に出るときに違ってくると思います。私は卒業後、銀行に勤めたあとで教員になりましたがその時に、自分は何のために4年制の大学に入ったのだからと振り返り、資格をとり、それを生かした仕事をしたから4年間頑張ってきたのだというのを思い出して、改めて教員採用試験を受けました。あの時もとっさり勉強しておけばよかったと思うことのないように、しっかりと

考えて学んでほしいと思えます。

生島 花田さんはいかがですか。

花田 大学に入って学んでいることを両親に感謝しなさい、ということですね。それが一番です。先ずは感謝することです。時間もお金も大切にして、親に感謝して学んでください。

生島 そうですね。先日、理事長先生も、「畏神愛人」を具体化するということの中には、親に感謝する、一生懸命勉強するというのも入っているとおっしゃっていました。今、お話を伺っていると、建学の精神は就職してから考えさせられるメッセージなのだということが、後輩たちに伝えていただくと強く感じました。

—— 未来に向けて、学生の決意 ——

では次に、学生の皆さんから、決意や、今後入学してくる高校生に伝えたいことをお話ししていただけますか。

浅沼 對馬さんのような先輩たちが学生時代、実習先で学院のイメージを高めるために頑張っていたらいいおかげで、今の自分たちの実習先が広がっていることに感謝し、ありがとうございますという気持ちです。自分たちも実習先の方々の信頼関係を深め、後輩にも伝えていきたいと思えます。社会福祉士の資格をとりたいので、残り一年ちよつとありますが、就職前には資格を絶対とるという気持ちで忘れず活動していきたいと思えます。

新毛 社会福祉を学んできた先輩たちが地域の人たちと良い関係を築いてきたということ伝えていきたいです。自分も夏休み中に社会福祉実習をして、社会福祉士の資格をとりたくて強く決意したところです。

生島 関戸君はどうですか。

関戸 自分は2年生なので、就職についての自覚はあまりないですけど、今できることはしっかりやっていこうと考えています。来年は、執行委員長として、今日の座談会でこれまでのいろいろな出来事を聞かせていただいたことを踏まえて、131年目からの大学をどうしていくかを考えていきたいと思えます。

生島 131年目からはこうなってほしいというビジョンはありますか。

関戸 大学がアンケートをとるけど、改善してほしいことが、何年も同じ状態で、あまり改善されていないので……。具体的には、**生島** 冷房がほしいですし、成績をネットで見ることができないようにしてほしいですね。そういう何年も前から提案されていることや、不満に思っていることを、131年目から変わりましたと言えるように解決していきたいです。

生島 大学への要望のほかに、学生としてどう動いていきたいということはどうですか。

関戸 ボランティアとか既存のものに乗っかるのではなく、自分たちでこの地域のこういうところはこうしたい方がいいのではないかと、提案し、作っていく地域貢献のための活動を考えられたら……。**生島** そうですね。しっかりと目標を持って頑張っていた方がいいですね。



かかわりや大学がこうであってほしいと思われることなどをお聞かせください。

花田 地域とのかかわりを持つことは大事ですね。大学内での学びだけでなく、地域とかかわっていくサークル活動とか授業がもっとあればいいのではないかと思います。

生島 地域の方とかかわることが大事ということでは、花田さんのお住いの田舎館村では、田んぼアートに弘大の学生が参加していますよね。

花田 田んぼアートは、役場に勤めていたのかかわりがありました。従来の事業にとらわれずに、発想を変えて新しい事業で地域と産業振興をということが始められたのですが、はじめの頃は、なかなか理解が得られず、見向きもされないという状況でした。しかし、田植えなど人手も必要なので、学生の協力を得るために担当者が大学を回って協力を得るという状況だったんです。現在のように大きなイベントになるとは思ってもいなかったです。

生島 でも、着実に発展してきましたよね。

花田 初めてやるときは、反対

されることが多いものですが、徐々に理解してくれる人も多くなりますから。

生島 今の姿を見れば、着実に、発想豊かに、周囲の反対に負けずに、しなやかにやるのが大事ということですね。

花田 そう、そう。どんな事でも、みんながみんな賛成ということはないので、何か一つでも、皆さんも勇気を出して、やり続けることを大事にしてほしいですね。

生島 森山さんはどうですか。母校弘前学院に期待すること

森山 これまでのみなさんのお話を聞いて、なぜ130年続いてきたのかということが、今よく分かったような感じがします。そして、この大学を卒業して本当によかったと思えました。更に発展・充実させていくのは今いる学生の皆さんです。学院で学べることはとても素晴らしいことなので、このことを大いに発信してほしいと思います。岩手出身の浅沼さんは、ここで学んで、岩手に戻つてこの学院の素晴らしさを伝えてほしいです。地元の人たちはここ弘前で、人とのつながりの中で学院のよさを伝えていきたいですね。学生時代は横のつながりしかないかもしれませんが、素晴らしい先輩もたくさんいますが、素晴らしい先輩もたくさんいるので、卒業したら縦のつながりも大事にしてください。学院の後輩を応援する先輩方はたくさんいます。人のつながりを大切に弘前学院の良さを伝えていければと思います。そうしていけば、131年以降も大いに発展していけると思っています。

一同 (うなずき)

生島 對馬さんはいかがですか。

對馬 企業でも学校でもそれぞれの地域の中で役割というのがあって、何かしらの形で地域貢献していると思えます。弘学が素晴らしいと思うのは、福祉学部ができて、看護学部ができて、時代の先を読んで必要なの、要請されていることに合わせた教育を用意していたということですね。学生も、そのような先を見てもの考えていく力を身に付けてほしいと思えます。社会に出ていろいろ考える時に、先を読めない取り残されるということがあるので。学院としては、これからは地域のニーズに答え、先を見据えた取り組みを進めてほしいと思えます。

生島 そうですね。地域を作っていく機動力になっていかないといけないですね。学生の皆さんは、今日のお話を聞いてどうでしたか。

関戸 弘前学院として新しいことをやる時に、関係者だけを対象に発信するというのではなく、学院関係以外の人々への発信が大事だという考えを得ることができました。

新毛 先輩の方々がいろいろなところで活躍されていることを知り、自分も卒業したら、学院卒の名に恥じないように頑張ろうと、身が引き締まる思いがしました。

浅沼 先輩の方々のお話を聞いて、130年の重みを感じることができました。卒業生の方々が築いてきて今があるということ、人のつながりがあるという学びがあるということを実感しました。自分も岩手に戻つた時に、学院出身の方々の輪を広げられたらと思えました。

生島 歴史があつて、蓄積されてきて、ただ大学があつたというだけでなく、そこには人がいてつながってきたのだということを改めて感じる事ができました。これから始まる131年からのステージに向けて、在学生・卒業生が一丸となって弘前学院を作っていくことを共有できた時間になったことに感謝し、最後に、今日はお仕事の都合で出席いただけませんでしたが出席いただけませんでした。看護学部一期生の方々からメッセージを頂戴しておりますので、要約をご紹介します。この会を閉じたいと思います。本日はありがとうございました。

看護学部一期生の皆様からのメッセージ

弘前学院大学 学生時代の思い出

学祭実行委員として頑張ったことや、皆で国家試験合格という目標に向かって日々過ごしたことが良い思い出です。大学生になり、自由が増えた分、何をやるにも自己責任が問われるようになっていきました。その中で、一人の大人として自主的に行動していきたくて嬉しかった。やりがいや、喜びや、やりがいを皆で共有できたことが一番の思い出です。

これからの弘学生、後輩(看護学部生)に期待すること

在学生の皆さんへ期待することとは、多くのことを学んでほしいということ。学業だけでなく、友達との交流等を大切に、人との付き合いの大切さが分かる弘学生として育ってほしいと願っています。